様式第２６号　別紙４（診療用放射線照射器具の届出）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 病院（診療所）名称 |  | 整理番号 | 　　１ | 　　２ | 　　３ |
| 　　　　　　所在地 |  | 区分 |  |  |  |
| 診療用放射線照射器具 | 　放射性同位元素の種類  |  |  |  |
| 　型　　式 |  |  |  |
| 　個　　数  |  |  |  |
| 　１個当たり数量 　　  |  Bq |  Bq |  Bq |
| 　合計数量 |  Bq |  Bq |  Bq |
| 使用室 | 　使用室名 |  |  |  |
| 　壁の外側における実効線量　（最大値を記入。単位:mSv/週） |  |  |  |
| 　出入口（１箇所）  |  適・否 |  　適・否 |  適・否 |
| 　使用室である旨の標識  |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
|  使用室内でのエックス線装置の使用 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
|  エックス線装置使用時の防護措置 |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 貯蔵施設 | 貯蔵室 | 　貯蔵室の構造 （耐火構造） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　貯蔵室の開口部（特定防火設備） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　人が常時出入りする出入口（１箇所） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　扉等の外部に通じる部分の鍵等 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　外側における実効線量（最大値を記入。単位:mSv/週） |  |  |  |
| 　貯蔵施設である旨の標識 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 貯蔵箱等 | 　貯蔵箱等の構造（耐火構造） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　ふた等の外部に通じる部分の鍵等 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　外側における実効線量（最大値を記入。単位:mSv/週） |  |  |  |
| 　貯蔵施設である旨の標識 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 貯蔵運搬容 器 | 　容器の外側における実効線量（最大値を記入。単位:mSv/週） |  |  |  |
| 　気密な構造（空気汚染の恐れがある場合） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　こぼれにくく液体が浸透しにくい（液体の場合） |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　貯蔵（運搬）容器である旨の標識 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　貯蔵する放射性同位元素の種類と数量の表示 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 放射線治療病室 | 　放射線治療病室の名称 |  |
|  壁 床 等 | 突起物、くぼみが少ない |  適・否 |
| 仕上材の目地等のすき間が少ない |  適・否 |
| 表面が平滑で気体、液体が浸透しにくい |  適・否 |
| 腐食しにくい |  適・否 |
| 　画壁の外側における実効線量 （最大値を記入。単位:mSv/週） |  |
| 　放射線治療病室である旨の標識 |  有・無 |
| 　病床数 |  床 |
| 特別措置病室 | 特別措置病室の名称 |  |
| 壁、床等の被覆 | 適・否 |
| 　出入り口における注意事項の掲示 | 適・否 |
| 　放射線測定器、汚染除去機材の備え置き | 適・否 |
| 　画壁等その他遮蔽物の外側における実効線量　(最大値を記入。単位:mSv/週) |  |
| 　病床数 | 床 |
| 管理区域 |  　管理区域である旨の標識 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
|  　管理区域外側における実効線量 （最大値を記入。単位:mSv/週） |  |  |  |
|  　管理区域の境界におけるその他の立入禁止措置 |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| その他 | 　注意事項の掲示（従事者） |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　注意事項の掲示（患者）  |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　敷地内の居住区域及び境界の実効線量　（最大値を記入。単位:μSv/３月） |  |  |  |
| 　放射線診療従事者等の被ばく防止措置 |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　その他の患者の被ばく防止措置 |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　放射線治療中の患者に付する標識 |  適・否 |  適・否 |  適・否 |
| 　集中治療室等での使用予定 |  有・無 |  有・無 |  有・無 |
| 　被ばく防止のための器具（器具名を記入） |  |
| 　従事者の被ばく測定方法 （測定器具名を記入） |  |
| 診療用放射線照射器具を使用する医師、歯科医師、放射線技師 | 　職種名 | 　氏名 | 　免許番号 | 　放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 年内使用予定の診療放射線照射器具 | 　※装備する放射性同位元素の物理的半減期が３０日以下のものを備えようとするときは、 　 以下の事項も記載すること。 |
|  型　　　式 |  個　数 |  種　　　　類 | 　数　　量 （Bq） |  最大貯蔵予定 数量（Bq） | １日の最大使用予定数量(Bq) |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

［別紙　記入要領］

　１　診療用の放射線照射器具の届出は、病院（診療所）として診療用放射線照射装置全体を届出す　　るものであり、個々の診療用放射線照射装置の更新等の場合も、全照射装置を記載すること。

　２　「整理番号」は、病院（診療所）における診療用放射線照射器具の種類が分かるよう「１」か　　ら連番とすること。

　３　「区分」は、新設、廃止、更新等診療用放射線照射器具毎の届出の理由を記入すること。 　　なお、更新については、例えば、「整理番号１の更新」等更新前の照射器具が分かるように　　すること。

　４　「放射性同位元素の種類」は、医療法施行規則別第三の放射性同位元素の種類により記入する　　こと。

　５　「使用室の構造」は、耐火構造、不燃材料使用、その他の別を記入し、その他の場合は具体的　　内容を記入すること。なお、使用室の材質の全部又は一部材質が異なる場合は「材質等」の「天　　井」、「床」、「壁」の欄に耐火構造等について記入すること ６　「使用室」、「貯蔵施設」、「貯蔵（運搬）容器」、「放射線治療病室」について、照射器　　　具との相関関係が分かるよう、適宜該当欄を区切る等により記入すること。

［添付書類］

　１　診療用放射線照射用具使用室、貯蔵施設、放射線治療病室の平面図及び側面図。

（装置からの天井、壁、床までの距離及び防護物の材料、厚さを示すこと）

　２　施設の防護に関する検査・測定結果（責任者の所属、職氏名を記したもので施工業者・測定業　　者のものでも可。）及び測定器の校正証明書の写し。理論計算により規制値を算出した場合はそ　　の計算書。

　３　管理区域を明示した放射線診療関係施設の平面図

　４　放射線診療関係施設の周囲の状況の分かる平面図の概念図（上下階を含む）。